

～新型包装機導入による衛生面と労働環境の改善及び販路拡大～ 福島鯉株式会社（京都府京都市）

背景・課題

これまで、国内各産地の節加工業者が製造した多様な節類を原料に、削り、だしパックを製造し国内外に販売してきたものの、近年国内での需要が下がり産地加工業者の間で危機感が広がっている。一方で、世界的に和食が認知され、だしパック商品の輸出が年々増加している。だしパックの中でも特に不織布のパックが急激に増えている。近年海外各国での輸出権益規則等が厳しくなっており、それに対応することが課題である。

取組のポイント

- 最新式50g～100g用自動計量包装機を導入し、衛生的な環境下での生産が可能になることで、生産効率・歩留まりの向上及び品質の安定・改善が図られ、利益率の改善に取り組む。
- 機器の導入により労働環境が改善されることで、人材育成と雇用拡大につなげる。同じように原料生産者である節加工業者への雇用機会の確保・拡大に取り組む。

取組の成果

- 新型包装機の導入に伴い、衛生的な環境下による生産効率や歩留まりの向上が見られ、品質が安定・改善された。製造ラインが増えたことで25%～最大29%の生産効率の向上、従来の2.5倍の製造能力の向上がみられた。
- 何カ国かと商談及び商品提案を行い、商品について理解を得ることができたので、更なる販路拡大が期待できた。

プロジェクトフロー

国内節加工業者

世界的な和食の認知が進んだことで、だしパック商品の輸出が年々増加

海外各国での権益規則等が厳しい

新型包装機の導入に伴い、品質の安定・改善が図られた

福島鯉株式会社

人材不足により派遣社員で対応していた

機器の導入により労働環境が改善
人材育成と雇用拡大につなげる

輸出先

近年国内での需要が低下

何カ国かと商談及び商品提案を行い、更なる販路拡大に取り組む

新型包装機

